

故 矢部善一様を偲んで 挽歌

頭下げ脇目もふらずどこまでも

歩む姿は求道者のごとし

こだわりの教えをたれる語りぐせ

あなたはいつも吾が師なりしに

あなたには迷いはなきか泰然と

吾もゆるりと教え聞きたし

五十年 個性豊かな先達の

去れば冷たきすきま風入る

先達は春を待たずに逝くと言ふ

何故に急ぐか木枯らしの吹く

平成二十六年一月四日

宮崎幸雄